

令和3年1月15日

関係者各位

金沢大学理工研究域地球社会基盤学系・教授
長谷川卓

博士研究員の公募について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

以下の通り博士研究員を募集いたします。関係者への周知をよろしくお願い致します。

採用人員：博士研究員（ポスドク）1名

採用分野：同位体地球化学・古海洋学

着任時期：令和3年4月1日

所属：金沢大学理工研究域地球社会基盤学系地球惑星科学教室（旧理学部地球学科）・長谷川研究室

応募資格：

1. 博士号を取得済みであること。
2. 機器分析の経験が豊富であること。
3. 分析化学的手法を用いた岩石の分析経験があること（有機，無機を問わず）。

担当業務：赴任後は以下の業務を担当いただきます：

1. 長谷川研究室の分析機器の管理及び化学分析を主とする古海洋学研究。
2. 金沢大学先魁プロジェクト「海洋底掘削による環境変動/海洋プレート国際研究拠点の形成」（代表：佐川拓也助教）の運営に参加。
3. 上記1，2に関連する作業を行う学生のサポート。

専門・経験：次のいずれかの経験のある方を優先しますが、「経験はないが、今後積極的に取り組んでみたい」という意欲をお持ちの方も歓迎します。

◎ODP/IODPの乗船研究者（Geochemist）

◎ODP/IODPの深海掘削試料を用いた古海洋学研究

◎安定同位体質量分析装置の運用

◎バイオマーカーを材料とした有機地球化学を基盤とする古海洋学研究

長谷川研究室では南半球高緯度域の白亜紀古環境の研究を進めています。古海洋関連分野で博士号を取得した方はもちろん、異分野からこの分野に足を踏み入れて視野を広げようという方も歓迎します。

提出書類：下記の書類をメールでお送りください。

1. 履歴書
2. 博士論文要旨
3. 研究業績リスト（論文リスト，および学会講演リスト）

採否の決定：書類審査で絞り込みを行った上で面接を行い，決定します。面接にかかる費用は当方で負担します。

勤務条件：

1. 令和4年3月までの契約としますが，令和5年3月までの延長あり（その後も後継プロジェクト等で継続できる可能性あり）。
2. 初任給：月給20-33万円（諸経費・保険，手当等を含む）の範囲で，経験や勤務形態に応じて決定いたします（要応談）。

募集締め切り：令和3年2月5日。適任者がいない場合は適宜募集を延長し，適任者が見つかり次第，募集を打ち切ります。締切日以降に応募をされる場合は，募集を継続しているかどうかをメールでお確かめ下さい。

書類（メール添付）送付先：jh7ujr@staff.kanazawa-u.ac.jp

（金沢大学理工学研究域地球社会基盤学系・長谷川卓）

照会先：書類送付先と同じメールアドレス，または電話 076-264-6508.

(参考：研究室 HP：http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/Paleo_Lab/index.html)

研究室で管理する既存装置の概要：

◎ThermoFisher MAT Delta V+ConFlo IV+Dual Inlet

インターフェイス 1：Trace GC+Isolink (燃焼・熱分解装置)

インターフェイス 2：NCS2500 (元素分析装置)

インターフェイス 3：GasBench II

◎SerCon ANCA-SL (元素分析装置直結型質量分析装置・硫黄専用)

◎GCMS-QP2010 (ガスクロマトグラフ質量分析装置)

◎GC(FID+FPD) (ガスクロマトグラフ)

◎ASE350 (有機物自動抽出装置)

◎JCI22 (有機物熱分解導入装置)

◎二酸化炭素精製ガラスライン 等

これらの他に，地球学教室の共通機器(XRD, XRF, EPMA, ラマン分光装置, FT-IR 等)，教室の他研究室が管理する機器 (ICP-AES, ICP-MS, SEM 等) もあり，応談により利用可能です